甲状腺のしこり 01

甲状腺にしこりが見つかった方へ

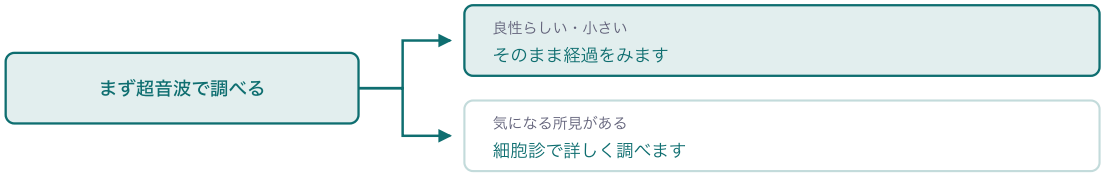
首の超音波でしこりが見つかることは珍しくありません。その多くは良性で、治療の要らないものです。

Q しこりはよくあるものですか

超音波で首を調べると、**10人に1〜3人ほど**にしこりが見つかります。年齢とともに増え、女性に多くみられます。

見つかったしこりのうち、がんは1割に満たないとされています。多くは治療の要らない良性のものです。

Q どうやって調べますか



大きさと超音波の見え方で、次に何をするかを決めます。

まず**超音波**で、大きさ・形・内部の様子を確かめます。これだけで良性らしいと分かるものも多くあります。

気になる所見があれば、細胞診を行います。細い針を刺して細胞を取り、顕微鏡で調べる検査です。

小さなしこりでは、すぐに細胞診をしないことがあります。 調べても分かりにくいうえ、多くは経過をみて差し支えないためです。

Q 経過観察では何をしますか

定期的に超音波で、大きさと形を確かめます。 変わりがなければ、そのまま続けます。

大きくなったときや、見え方が変わったときに、あらためて検査を考えます。

Q 甲状腺の働きも調べます

しこりが見つかったときは、**採血で甲状腺の働きも確かめます**。まれに、しこり自体がホルモンを作り、甲状腺の働きが強くなることがあるためです。

Q こんなときはお知らせください

急に大きくなった	数週間で目立って大きくなるときは、早めにお知らせください
声がかすれる	飲み込みにくさが出たときも同じです。しこりが周りに影響している可能性があります

いずれもまれですが、**次の受診を待たずにご連絡ください**。

Q がんだったらどうなりますか

甲状腺のがんは、**多くがゆっくり進みます**。手術で治る方が多く、治療のあとも普段どおりの生活を続けられます。

ごく小さなものでは、**すぐに手術せず経過をみる**という選択肢もあります。

出典：日本内分泌外科学会 甲状腺腫瘍診療ガイドライン2024

診療目的での複製は自由に行えます。